

2024年2月期(2023年度)

# 決算説明会



**イオン九州株式会社**

(証券コード 2653)

2024年4月10日(水)

# I. 2023年度(2024年2月期)決算概要

## II. 中期経営計画

パーパス

事業戦略

## III. 2024年度の取り組み

## 公表数値を大きく上回る数値を達成

➤ 売上高を中心に好調な業績が継続し、営業利益段階で大きく嵩上げ

(単位:百万円)	2023年度		(連結) 公表比
	(連結)	2023年4月12日 公表数値	
営業収益	510,317	500,000	102.1%
営業利益	10,382	7,900	131.4%
経常利益	10,539	8,000	131.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,025	4,300	163.4%
1株当たり当期純利益	205.20円	124.02円	165.5%
総資産	171,514		
純資産	50,288		
自己資本比率	29.2%		

## 営業収益、各段階利益ともに単体業績として過去最高を更新

- 消費の二極化対応への取り組みとアフターコロナの需要を取り込む
- 省力化投資を積極的に実施し、生産性の向上を図る

(単位:百万円)	2023年度		(単体)	(単体)
	(単体)	2023年4月12日 公表数値	公表比	前期比
営業収益	508,987	498,500	102.1%	105.1%
営業利益	10,969	8,500	129.0%	131.7%
経常利益	11,127	8,600	129.4%	126.0%
当期純利益	7,337	4,700	156.1%	157.0%
1株当たり当期純利益	214.30円	135.56円	158.1%	159.0%
総資産	170,633			107.9%
純資産	50,284			108.6%
自己資本比率	29.4%			

## 統合効果を発揮し、順調に推移

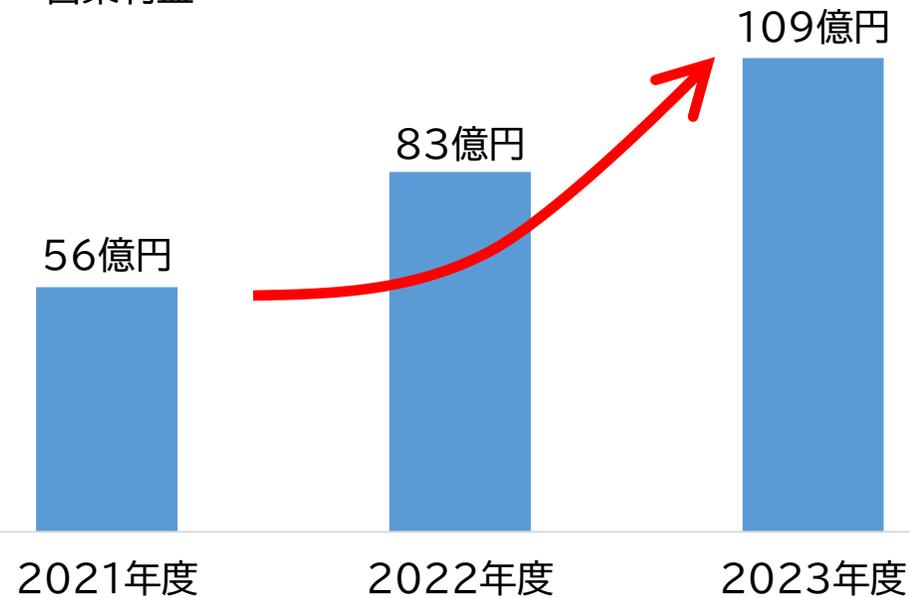
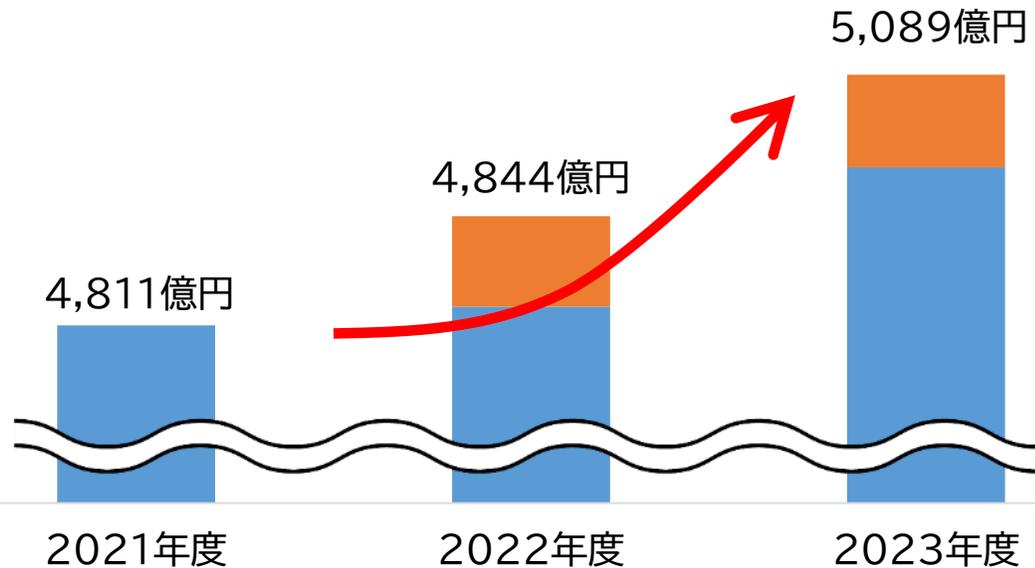
- コロナ禍からインフレ環境へと大きく変化する中で、積極的な価格施策で強みを発揮
- グループシナジー、統合シナジーを享受しつつ、新たな成長戦略を推進

### 営業収益

### 営業利益

■ 営業収益 ■ 会計基準影響

■ 営業利益



## 大幅増益の主要因はトップラインの拡大によるもの

- 売上高・売上総利益・営業収入ともに前期を上回り、増益を確保
- 販管費は増加したものの、コストコントロールを行い、売上比では0.5pt改善

(単位:百万円)	2023年度			2022年度	
	実績	売上比	前年同期比	実績	売上比
営業収益	<b>508,987</b>	—	<b>105.1%</b>	484,466	—
売上高	<b>483,339</b>	<b>100.0%</b>	<b>105.2%</b>	459,422	100.0%
売上総利益	<b>125,891</b>	<b>26.0%</b>	<b>105.6%</b>	119,164	25.9%
営業収入	<b>25,648</b>	<b>5.3%</b>	<b>102.4%</b>	25,043	5.5%
販管費計	<b>140,570</b>	<b>29.1%</b>	<b>103.5%</b>	135,877	29.6%
営業利益	<b>10,969</b>	<b>2.3%</b>	<b>131.7%</b>	8,330	1.8%

## SM・DS業態及びGMS食品の売上が好調に推移

- インフレに伴う物価高への価格対応を強化
- お客様の変化に対応した、デリカ・オーガニック・冷凍食品・トラベル関連商品や化粧品等の品揃えを拡充

### ◆主な業態の売上動向

(単位:百万円)	2023年度			2022年度	
	売上高	構成比(※)	前年同期比	売上高	構成比(※)
SM・DS	233,499	48.3%	106.0%	220,348	48.0%
GMS	229,035	47.4%	105.0%	218,220	47.5%
衣料品	41,859	8.7%	102.1%	41,017	8.9%
食品	151,344	31.3%	106.6%	142,026	30.9%
住居余暇商品	35,802	7.4%	101.9%	35,144	7.6%
SM・DS、GMS計	462,534	95.7%	105.5%	438,568	95.5%

※構成比は、会社計売上高に対する割合を表しています。

## 新規出店、既存店活性化等設備投資の実施額174億34百万円

- 総資産 新規出店及び既存店活性化、デジタル投資を計画的に推進し、固定資産が増加
- 負債 新規出店に伴う仕入増により、買掛金が増加

(単位:百万円)	2024/2期末			2023/2期末	
		構成比	増減額	実績	構成比
<b>総資産</b>	<b>170,633</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,444</b>	<b>158,189</b>	<b>100.0%</b>
流動資産	49,555	29.0%	1,749	47,806	30.2%
固定資産	121,078	71.0%	10,695	110,383	69.8%
<b>負債</b>	<b>120,348</b>	<b>70.5%</b>	<b>8,451</b>	<b>111,897</b>	<b>70.7%</b>
流動負債	83,453	48.9%	5,067	78,385	49.6%
固定負債	36,895	21.6%	3,383	33,511	21.2%
<b>純資産</b>	<b>50,284</b>	<b>29.5%</b>	<b>3,993</b>	<b>46,291</b>	<b>29.3%</b>
利益剰余金	36,323	21.3%	5,877	30,446	19.2%
その他	13,961	8.2%	△1,884	15,845	10.0%
<b>有利子負債</b>	<b>29,795</b>	<b>17.5%</b>	<b>△429</b>	<b>30,225</b>	<b>19.1%</b>

## 成長投資を実行しつつ、フリーキャッシュフローは+37億57百万円

- 営業CF 好調な業績を背景に+152億70百万円
- 投資CF 新規出店及び既存店活性化、デジタル投資等で△115億12百万円
- 財務CF 借入金の返済及び配当金の支払いで△38億23百万円

(単位:百万円)	2023年度	2022年度
<b>営業活動によるCF</b>	<b>15,270</b>	<b>14,529</b>
税引前当期純利益	6,183	6,431
減価償却費	6,467	6,618
その他	2,619	1,479
<b>投資活動によるCF</b>	<b>△11,512</b>	<b>△7,378</b>
有形固定資産の取得	△12,311	△7,194
その他	799	△183
<b>財務活動によるCF</b>	<b>△3,823</b>	<b>△7,515</b>
有利子負債	△429	△6,820
その他	△3,393	△695

I. 2023年度(2024年2月期)決算概要

**II. 中期経営計画**

パーパス

事業戦略

III. 2024年度の取り組み

## 私たちの「たからもの」 九州をもっとー。

九州は一つの宝島です  
うつくしい自然、おいしい食材  
独自の食文化や伝統文化など  
数えきれないほどの  
たくさんの宝物があります

そこで働く人、そこに住む人、  
そこを訪れる人  
私たちはたくさんの「人」と、  
恵まれた環境の中で  
「つながり」という宝物を手に入れ、  
成長してきました



お客さまからの「ありがとう」  
仲間同士の「ありがとう」  
そのつながりと  
そこから生まれる笑顔が  
私たちの原動力です

これからも  
すべての「つながり」を大切に  
豊かな暮らしと  
明るく元気なあしたのために  
私たちは「変革と挑戦」を続けます

I. 2023年度(2024年2月期)決算概要

**II. 中期経営計画**

パーパス

**事業戦略**

III. 2024年度の取り組み

【イオン九州にとっての重要な環境認識】

【イオン九州への意味合い】

少子高齢化の加速

- ・子育て世帯減少、単身者の増加
- ・九州の自治体85%超で人口減少

- ・デリカ強化
- ・地域に合わせた機能への対応
- ・労働人材確保の必要性

更なる競合の激化

- ・競合店の新規出店加速
- ・EC市場の拡大
- ・M&Aによる再編

- ・人口増加エリアへの出店加速
- ・既存店舗の価値向上
- ・ネットスーパー、ECの取り組み強化

ライフスタイルの変化

- ・健康志向の高まり
- ・消費の二極化、メリハリ消費

- ・成長市場への出店加速
- ・節約志向への対応
- ・高付加価値商品の展開

デジタル化の進展・加速

- ・AIの汎用性加速、性能の高まり
- ・顧客データの活用技術の加速

- ・店舗省人化の取り組み加速
- ・One to Oneマーケティングの実現
- ・OMOの進化

サステナビリティ意識の高まり

- ・地球温暖化と気候変動
- ・限られた資源、資本

- ・環境コスト負担の増大
- ・人的資本経営の必要性
- ・健全な企業経営の推進

## 九州エリアにおける競争環境の変化に対して積極的なアクションをとる

- 全国規模のSMチェーンストアによる九州事業の切り離し
- 新規リテーラーの九州への進出

	当社店舗数		
	福岡県	その他	九州計
GMS	26店舗	41店舗	67店舗
SM・EX	66店舗	93店舗	159店舗
ウエルシア プラス	4店舗	1店舗	5店舗
DS	13店舗	17店舗	30店舗

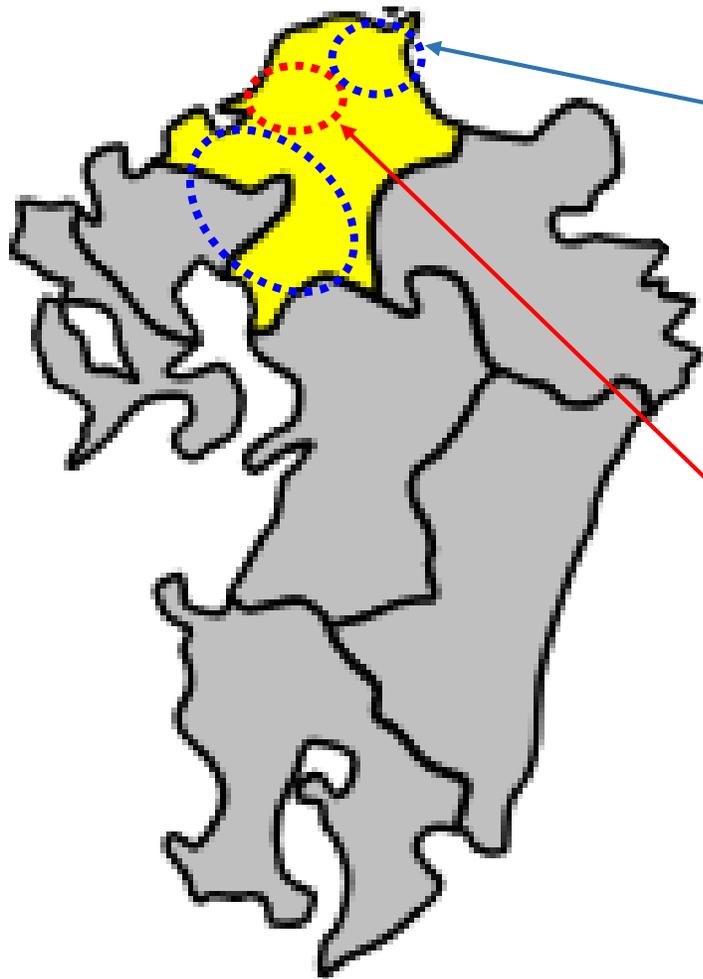
	【新】イズミグループ店舗数	
	福岡県	九州計
GMS	10店舗	22店舗
SM	93店舗	130店舗

※2024年2月末時点店舗数  
 【新】イズミグループ店舗数は(株)イズミ・(株)西友  
 ホームページに記載の店舗数を合計したもの

ウエルシアプラス・エクスプレスの出店を加速し、  
 福岡県SM店舗数No1を維持

# 一定の人口と市場規模を保持する福岡県を重点出店エリアに設定

- 福岡県                    ウエルシアプラス・エクスプレスの出店を加速しドミナントを構築
- 九州全域                出店・活性化に加えM&Aの実施によりシェア拡大



福岡都市圏・筑後・北九州の駅前・住宅地を中心に出店を推進

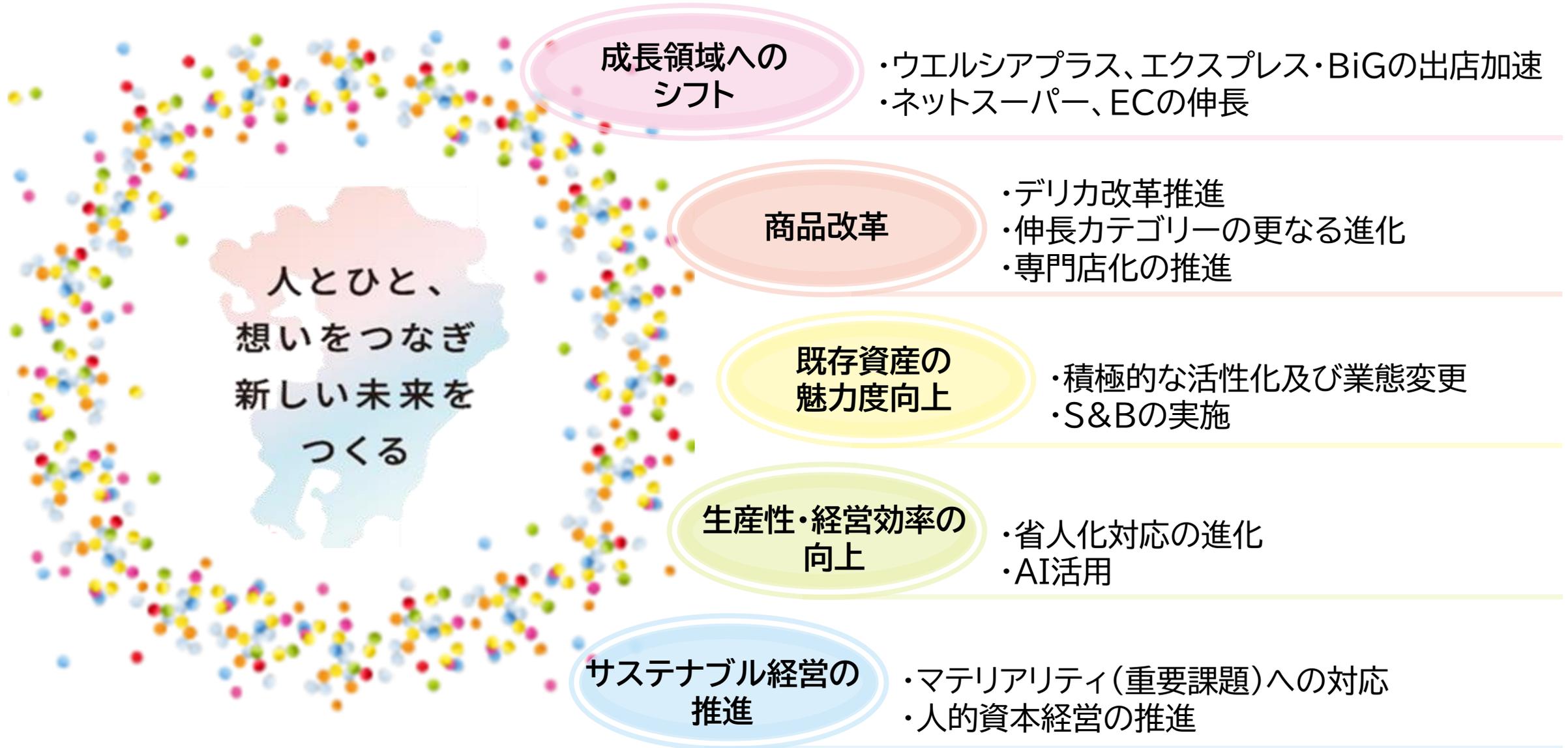


地下鉄・西鉄沿線、都市高速環状線内を中心に、2027年度に100店舗体制へ

福岡県 出店計画(24~26年度)

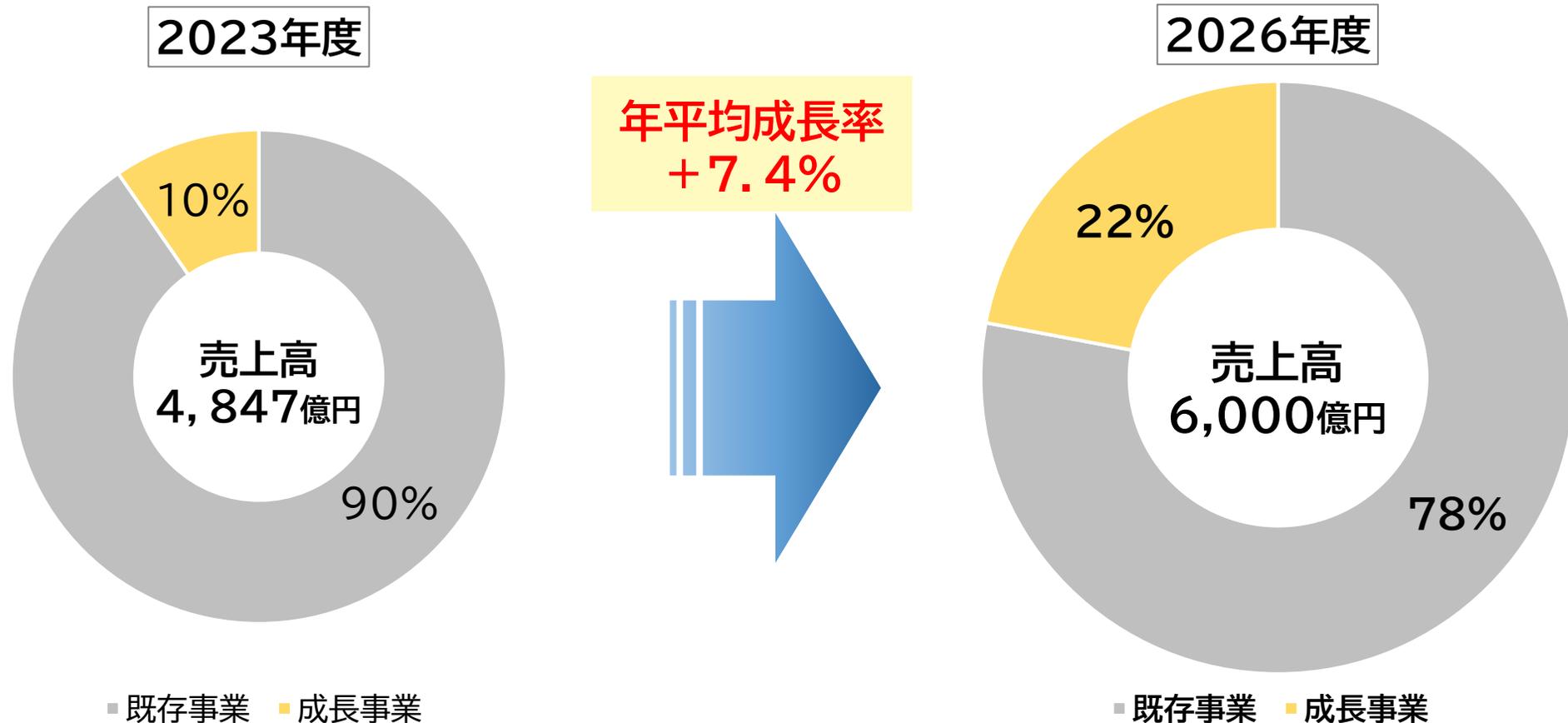
ウエルシアプラス	エクスプレス	合計
50店舗	60店舗	110店舗

M&Aの投資枠  
300億円



## 今後自社が注力する事業を中心に継続的な成長を実現する

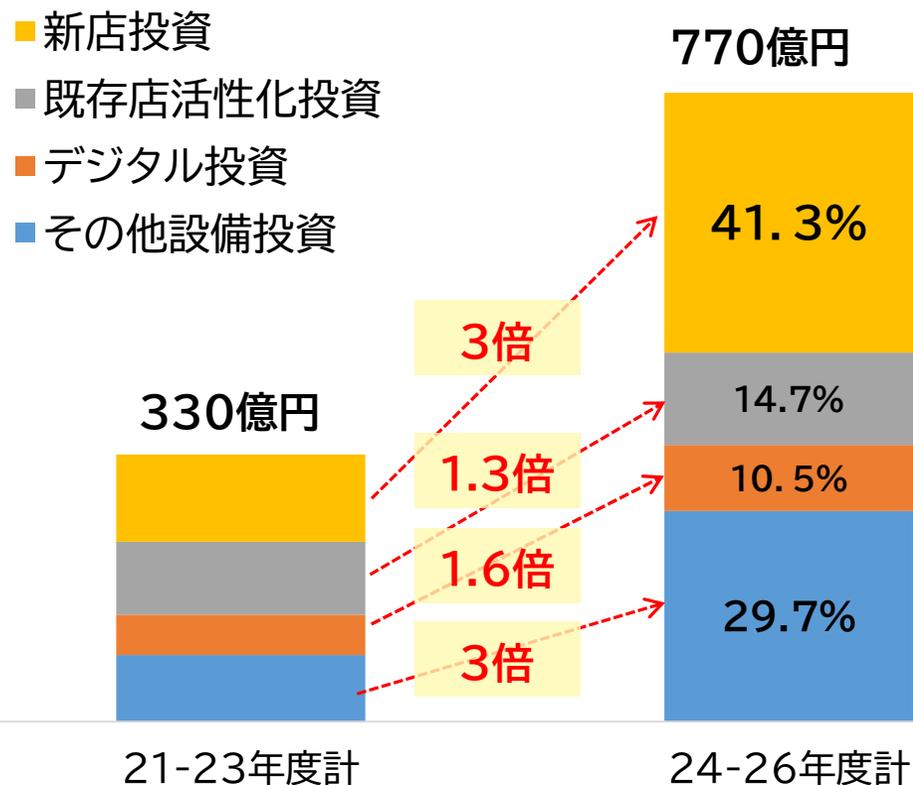
- 成長事業            ウェルシアプラス・エクスプレス・BiGの出店加速
- 既存事業            積極的な活性化及び業態変更・S&Bの実施



## 次の成長エンジンへの積極的な投資を行い継続的な成長を図る

- 「ウエルシアプラス」及び都市型小型SM「エクスプレス」の出店を加速
- 既存店の魅力度向上のための、活性化・デジタル投資は継続実施

<投資計画>



※投資額は発生経費を含む総投資ベースとしています

ウエルシアプラス 及び エクスプレスを  
主体とした新規出店

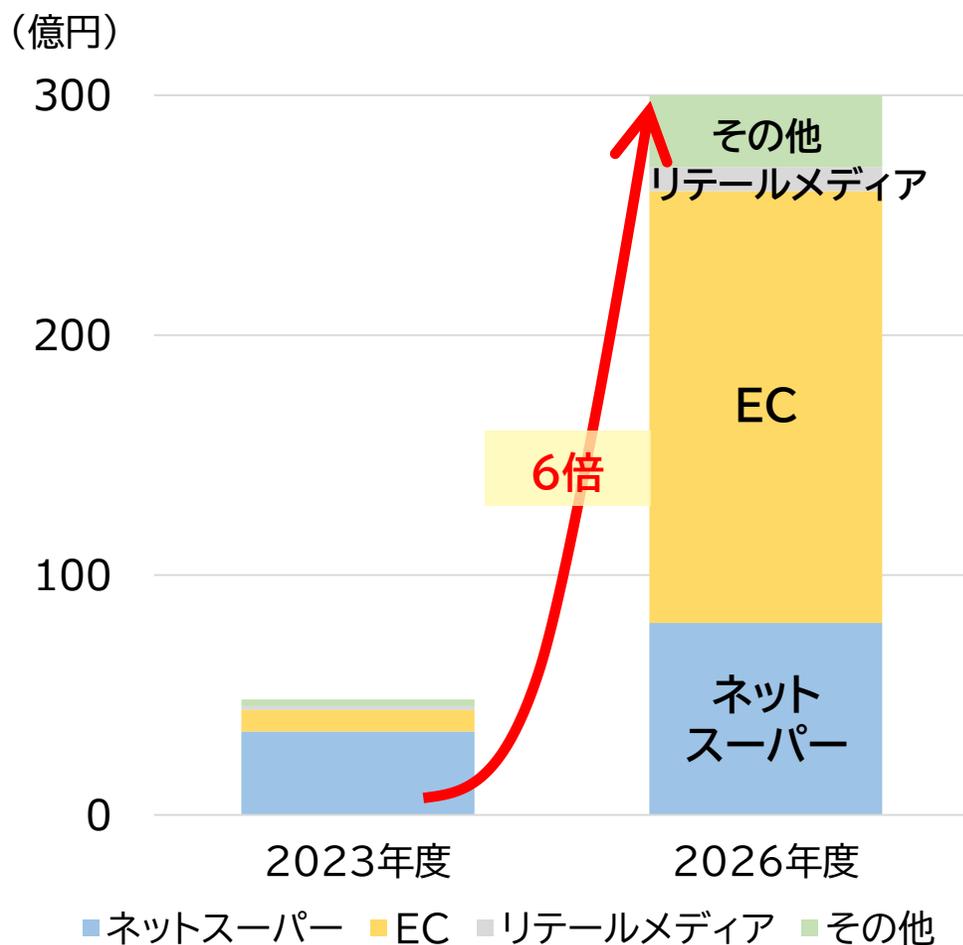
収益力向上のための既存店活性化の推進

事業領域拡大・生産性向上を実現するデジタル投資

環境・グリーン投資による環境負荷と経費の軽減  
安全・安心を担保する計画的修繕投資

## 店舗以外のタッチポイントを拡大し、お客さまの利便性向上

- デジタル売上(EC・ネットスーパー等):26年度目標売上高 300億円
- 「iAEON」アプリと購買データを活用したOne to Oneマーケティングの実現
- M&A及びアライアンスを通じた飛躍的成長を実現

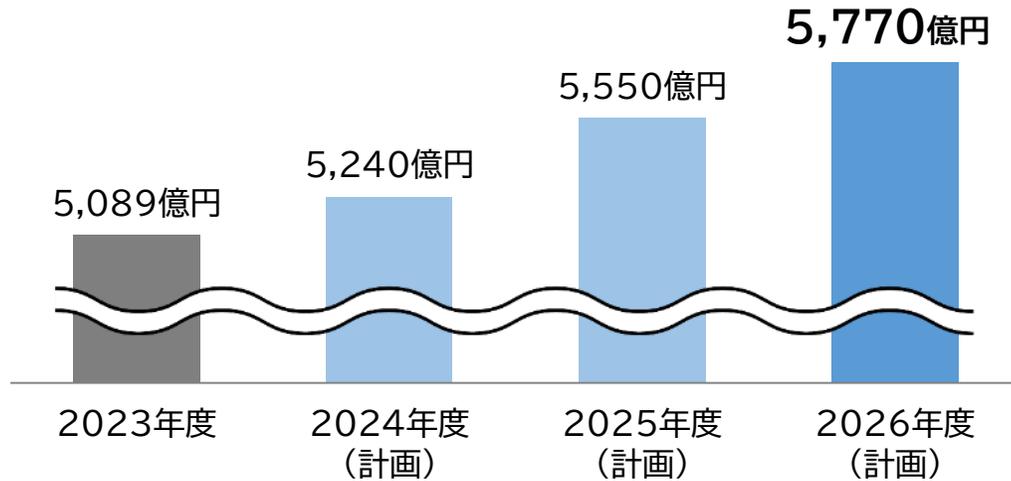


	23年度		26年度
ネットスーパー	34.8億円	➡	80億円
EC	9.0億円	➡	180億円
リテールメディア	1.5億円	➡	10億円
その他 ※	2.8億円	➡	30億円
<b>合計</b>	<b>48億円</b>	➡	<b>300億円</b>

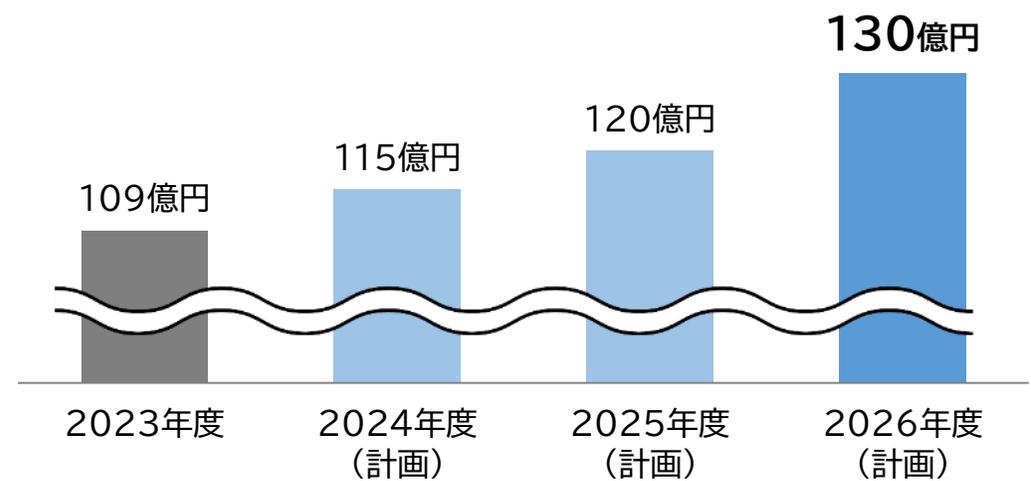
※その他:フードデリバリー(UberEats、Wolt)、移動販売、無人店舗など

## 成長事業を中心とした積極出店を行いながら安定的な利益創出を図る

< 営業収益(単体) >



< 営業利益(単体) >



< 連結業績計画 >

(単位:億円)	2023年度 実績	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)
営業収益	5,103	5,340	5,800	6,230
営業利益	104	106	108	119

< 目指す水準(連結) >

	2026年度 (計画)	24~26年度計 (計画)
ROE	10.0%	投資総額 770億円
ROIC	8.0%	出店数 170店舗

I. 2023年度(2024年2月期)決算概要

II. 中期経営計画

パーパス

事業戦略

III. 2024年度の取り組み

## 成長事業で20店舗超の出店を計画

➤ デリカ・畜産・水産等プロセスセンターを活用した商品供給体制の確立による高速出店の実施



- 調剤併設型ドラッグストアと生鮮食品を揃えたSMの融合「ウエルシアプラス」
- 2026年度に70店舗体制へ
- 福岡県から九州各県へ順次拡大



- 近くて便利な、コンパクトSM「エクスプレス」
- 2026年度に70店舗体制へ
- 福岡市都市部へのドミナント展開

# グループシナジーの最大化と九州独自MDの強化

グループシナジー商品力

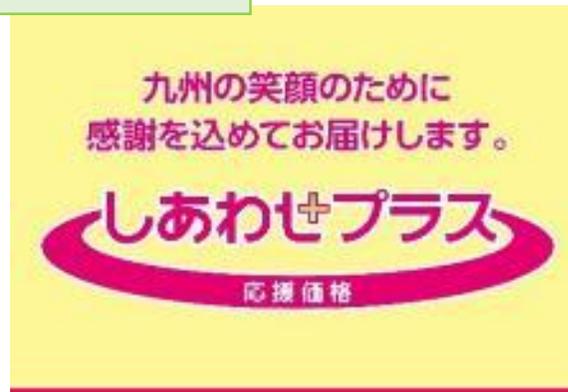
毎日の暮らしを豊かに

九州独自MD



HÓME CÓORDY

SELF + SERVICE

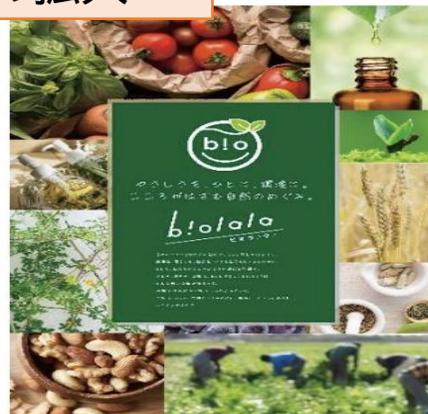


新規顧客層の拡大



Bio c' Bon

Doublefocus



# 地域・行政との取り組みや活性化・業態転換・スクラップ&ビルド(S&B)投資を促進し、より地域に根差した店舗・ショッピングセンターへ

【実現したい姿】

【実施すること】

【提供価値】

地域No.1の  
GMS

店舗年齢若返りの活性化投資  
イオン生活圏の拠点となる施策

日々を豊かにする  
商品・サービス・  
生活基盤

地域に  
適応したSM

立地に応じた衣料品・暮らしの品の付与  
最新の食品MDを提供

お客さまの不便を  
解消できる機能

地域に必要な  
業態への進化

店舗のポジショニングの再確認  
ウエルシアプラス・DS等への転換

地域ニーズに  
適応した業態

# 地域九州の流通企業の皆さまとともに持続可能な社会づくりを推進

## 九州物流研究会(2023年度3回開催)

物流を協調領域として、参画企業の皆さまと「2024年問題」、  
「物流危機」を乗り越えるための取り組みを進めます

### 【九州物流研究会の取り組み】

- ✓ 福岡、長崎、大分にてエリア分科会を組成、配送の効率化を実施
- ✓ 配送コンテナ、台車の規格標準化、共同利用の検討を推進



## 九州流通サステナビリティサロン

「九州流通サステナビリティサロン」を設立し、小売流通業のサステナブル化に向けた情報連携と共創活動を推進します



【事例】各社の店舗で「サステナブル共同販促」実施(2023年6月)

## 地域との協創

日向夏 収穫支援活動(宮崎県綾町)



イオンチアーズクラブとの連携(フードアルチザン)



## 営業収益は+4.6%の成長、営業利益は+2.1%増益を計画

- 新規出店は、GMS2店舗、SM13店舗、ウエルシアプラス16店舗等を予定
- 子会社「イオンウエルシア九州(株)」における出店拡大に伴う先行投資影響あり
- 親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、前期における繰延税金資産計上等の影響あり

(百万円)	2025/2期	2024/2期	前期比
営業収益	<b>534,000</b>	510,317	<b>104.6%</b>
営業利益	<b>10,600</b>	10,382	<b>102.1%</b>
経常利益	<b>10,600</b>	10,539	<b>100.6%</b>
親会社株主に帰属 する当期純利益	<b>5,100</b>	7,025	<b>72.6%</b>
1株当たり配当金	<b>45円</b>	50円	※前期：特別配当5円 記念配当5円
配当性向	<b>30.2%</b>	24.2%	

※2025年2月期の1株当たり配当予想は、中間配当20円、期末配当25円を合わせた年間配当金45円 26

## 営業収益は+3.9%の成長、営業利益は+4.8%増益を計画

- 新規出店は、GMS2店舗、SM13店舗(内、エクスプレス12店舗)等を予定
- エネルギー価格の高騰を背景とした仕入れ価格、水道光熱費の上昇、春闘賃上げ等による人件費の上昇、今後の成長に向けた投資によるコスト上昇の一方で、DX活用による生産性向上を織り込む
- 経常利益に関しては、営業外収益において前期における保険金受入等の影響あり
- 親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、前期における繰延税金資産計上等の影響あり

(単位:百万円)	2025/2期	2024/2期	前期比
営業収益	<b>529,000</b>	508,987	<b>103.9%</b>
営業利益	<b>11,500</b>	10,969	<b>104.8%</b>
経常利益	<b>11,400</b>	11,127	<b>102.5%</b>
当期純利益	<b>5,600</b>	7,337	<b>76.3%</b>

## 2024年度の1株当たり配当金は中間配当20円、期末配当25円を計画

- 2023年度の1株当たり期末配当金は、1株当たり普通配当26円に特別配当5円、記念配当5円を加えた36円とし、年間配当金は中間配当14円と合わせた1株当たり50円となる

中長期的な成長による  
企業価値向上



経営のパートナーである  
株主さまへの安定的な利益還元  
(株主配当金 + 株主優待制度)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (連結)	2024年度 (連結計画)
1株当たり 年間配当金	15円	20円	28円	50円	45円
配当性向	20.1%	25.0%	20.8%	24.4%	30.2%
※備考①	記念配当5円を含む	記念配当5円を含む		特別配当5円 及び 記念配当5円を含む	
※備考②	期末配当のみ	期末配当のみ	期末配当のみ	中間配当14円 期末配当36円	中間配当20円 期末配当25円

The AEON logo is displayed in a bold, magenta, sans-serif font. A horizontal, three-dimensional magenta ring is positioned behind the letters 'E' and 'O', passing through the center of the 'O' and the right side of the 'E'. The letters 'A', 'E', 'O', and 'N' are arranged horizontally. The 'A' is a simple triangle, the 'E' is a blocky letter with a horizontal bar, the 'O' is a circle, and the 'N' is a blocky letter with a vertical stem and a diagonal top bar. The entire logo is centered on a white background.

**AEON**